

周防灘小型機船底びき網漁業対象種  
資源回復計画の取組



平成23年

周防灘小型機船底びき網漁業対象種(カレイ、ヒラメ、クルマエビ、シャコ、ガザミ)  
資源回復計画の取組

○参加漁業種類

漁業の種類		地方名称
小型機船底びき網漁業	手繰第二種	えびこぎ網漁業(山口県、福岡県)
		こぎ網漁業(大分県)
	手繰第三種	けた網漁業(山口県、福岡県)
		貝けた網漁業(大分県)

○漁獲努力量削減措置

(1) 小型魚の水揚げ制限(小型機船底びき網による水揚げ制限魚種及び全長)

魚種	全長
マコガレイ	15cm以下
メイタガレイ	
イシガレイ	
ヒラメ	25cm以下
クルマエビ	10cm以下
シャコ	

(2) 海水シャワー設備の導入(再放流される小型魚の生残率向上)

	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年度
山口県	38隻	16隻	18隻	30隻	8隻	0隻	30隻予定(再編整備等推進支援事業)
福岡県	導入済み						
大分県	導入済み						

(3) 産卵親魚の保護(抱卵ガザミ再放流の取組)

	取組主体	実施方法	放流尾数						
			17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年
山口県	宇部小野田山陽地域栽培漁業推進協議会	買上げ(5~6月)	5953	4615	5440	5726	4381	7884	7535
福岡県	豊前海区漁協青壮年協議会	買上げ(5~9月)	3013	4664	3000	4800	4800	4800	6400(目標)
大分県	小型機船底びき網漁業者	船上放流(周年)	抱卵ガザミ全て(尾数不明)						

(4) 休漁期間の設定(海底清掃等漁場環境改善への取組と併せた実施)

実績なし

○資源の積極的培養措置

周防灘区における種苗放流(対象魚種)の実施状況

クルマエビ

(単位：千尾)

	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
山口県	10,197	9,108	8,296	5,233	7,308	5,017	4,804	4,572
福岡県	2,870	3,353	3,549	3,836	3,971	4,152	3,890	3,092
大分県	1,707	2,359	(*2,938)	908	1,366	861	1,704	725
計	14,774	14,820	14,783	9,977	12,645	10,030	10,398	8,389

ガザミ

(単位：千尾)

	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
山口県	766	1,197	912	929	826	894	730	1,077
福岡県	885	755	697	874	501	1,098	992	788
大分県	193	238	539	713	688	755	655	579
計	1,844	2,190	2,148	2,516	2,015	2,747	2,377	2,444

マコガレイ

(単位：千尾)

	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
山口県	65	67	71	48	54	56	66	147
福岡県	—	—	—	—	—	—	—	—
大分県	25	32	19	28	15	16	27	25
計	90	99	90	76	69	72	93	172

ヒラメ

(単位：千尾)

	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
山口県	175	175	221	169	163	168	176	153
福岡県	—	—	—	—	—	—	—	—
大分県	—	2	10	—	—	—	—	—
計	175	177	231	169	163	168	176	153

[資料] 平成15年～21年：栽培漁業種苗生産、入手・放流実績(全国)

(水産庁・独立行政法人水産総合研究センター・(社)全国豊かな海づくり推進協会)

平成22年：各県担当課より聞き取り

(\* )2,938千尾の内1,379千尾については、放流尾数を計数しておらず中間育成受入尾数と同数値である。

○周防灘区における広域漁場整備及び水域環境保全の取組状況



県名	地区	施設	対象魚種
●	広域漁場整備事業		
	大分県 姫島沖	魚礁	カレイ類、ヒラメ、マダイ等
	大分県 中津沖	魚礁	カレイ類、ヒラメ、クダイ等
▲	水域環境保全創造事業		
	山口県 周南・下松沖	藻場	ナマコ等
*	福岡県 宇島沖	覆砂	カレイ類等
*	福岡県 豊前南部沖	覆砂	クルマエビ、カレイ類等

(\* : 農山漁村地域整備交付金に移行)

○漁獲量について

1. 瀬戸内海区及び太平洋南区における漁業動向 (注1)

年別	瀬戸内海区 小型底びき網 縦びきその他 漁獲量合計	うち 周防灘区 漁獲量合計	うち 計画対象魚種 漁獲量合計	計画対象魚種別漁獲量 (単位:トン)				
				カレイ類 (注2)	ヒラメ	クルマエビ	ガザミ類	その他の 水産動物類 (注3)
平成14年	13,065	8,028	2,242	1,131	15	108	224	764
平成15年	11,178	6,639	1,890	918	28	101	178	664
<b>平成16年</b>	10,869	7,035	<b>2,123</b>	1,007	43	116	347	610
平成17年	10,029	6,136	1,765	752	20	100	194	699
平成18年	9,488	5,963	1,671	748	25	116	238	544

[資料] 平成14～18年：中国四国農政局統計部(平成18年は聴取り)調査

(注1)「瀬戸内海区及び太平洋南区における漁業動向」は平成17年調査で刊行終了

(注2)「カレイ類」はヒラメを除くカレイ目(マカレイ、サマカレイ、ヤナギムシカレイ、アカカレイ、マコカレイ、アブラカレイ、ソウハカレイ、メイトカレイ、イカレイ、コカネカレイ、オヒョウ、ヒレグロ(ナメカレイ)、ウシノシタ類等)

(注3)「その他の水産動物類」はナマコ類を除き、他のいずれにも分類されない水産動物類(ナンキョクオキアミ、シヤコ、サンゴ、餌ムシ等)

2. 資源回復計画対象魚種の漁獲動向 (注1)

年別	瀬戸内海区 小型底びき網 漁獲量合計		計画対象魚種 漁獲量合計(注2)	計画対象魚種別漁獲量 (単位:トン)				
				カレイ類	ヒラメ	クルマエビ	ガザミ類	シヤコ
平成19年	(9,534)	—	1,731	825	61	100	530	215
平成20年	—	—	1,988	934	52	112	594	296
平成21年	—	—	1,819	779	51	110	631	248
平成22年	—	—	1,855	852	41	82	657	223

[資料] 平成19～22年：農林水産省大臣官房統計部調査 ( )内は「漁業・養殖業生産統計年報」数値

(注1) 数値は概数であり、再度集計結果により訂正される場合がある。

(注2)「カレイ類」はヒラメを除くカレイ目(マカレイ、サマカレイ、ヤナギムシカレイ、アカカレイ、マコカレイ、アブラカレイ、ソウハカレイ、メイトカレイ、イカレイ、コカネカレイ、オヒョウ、ヒレグロ(ナメカレイ)、ウシノシタ類等)

○マコガレイ漁獲努力可能量(TAE)管理の実施状況

	漁業種類	管理期間	(A) 漁獲努力可能量(隻日)	(B) 実績値(隻日)	(B)/(A)
山口県	小型機船底びき網	H23. 1. 1	11,685	2,352	20 %
福岡県	漁業(うち手繰第二種	～ 2. 10	2,130	1,055	50 %
大分県	及び手繰第三種)	(41日間)	2,445	807	33 %
計			16,260	4,214	26 %



平成24年1月～3月  
周防灘小型機船底びき網漁業対象種(カレイ類、ヒラメ、クルマエビ、シャコ、ガザミ)  
資源回復計画の取組(案)

○参加漁業種類

漁業の種類		地方名称
小型機船底びき網漁業	手繰第二種	えびこぎ網(山口県、福岡県)
		こぎ網(大分県)
	手繰第三種	けた網(山口県、福岡県)
		貝けた網(大分県)

○漁獲努力量削減措置

(1) 小型魚の水揚げ制限(小型機船底びき網による水揚げ制限魚種及び全長)

魚種	全長
マコガレイ	15cm以下
メイタガレイ	
イシガレイ	
ヒラメ	25cm以下
クルマエビ	10cm以下
シャコ	

(2) 海水シャワー設備の導入(再放流される小型魚の生残率向上)

山口県 30隻予定(H23年度予定)

福岡県 導入済み

大分県 導入済み

(3) 産卵親魚の保護

抱卵ガザミの産卵機会を確保するため、漁獲された抱卵ガザミの再放流を実施。

○資源の積極的培養及び漁場環境の保全措置

周防灘区における種苗放流や広域漁場整備等を実施。

○マコガレイ漁獲努力可能量(TAE)管理

	平成23年TAE		平成24年TAE(案)		備考
	管理期間	隻日数	管理期間	隻日数	
山口県	H23. 1. 1	11,685	H24. 1. 1	11,685	小型機船底びき網漁業 (うち手繰第二種及び 手繰第三種漁業)
福岡県	～ 2. 10	2,130	～ 2. 10	2,130	
大分県	(41日間)	2,445	(41日間)	2,445	